

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援（主に重心）ひだまりっこα	公表日	7年 3月 31日
------	---------------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	●		身体を休息させるベッドスペースを3床設け、活動と休息のスペースを揃えています。	
	2	●		厚生労働省の人員配置基準以上に満たし、尚且つマンツーマンでの手厚い療育・ケアが提供できる体制で活動しています。	
	3	●		幼児トイレ、手すりの設置など、安全に配慮しています。また、施設内のエレベーター、トイレ、ホール等は障がい種別を問わない受入れが可能な設備となっています。ひだまりっこαのベッドの空間には、緊急時ボタンが備え付けてあります。	
	4	●		活動前には清掃の方が毎日館内掃除をしてくれています。（教室や廊下、階段も掃き・拭き掃除）活動後もスタッフが掃き・拭き掃除をして清潔の保持に努めています。また、各種感染症対策として、常時24時間換気システム+空気清浄加湿器2台で換気をしています。	
	5	●		上記1参照	
業務改善	6	●		毎月末のスタッフミーティングにて、利用者様一人一人の振り返りや、行事・遊びについての目標設定・到達につき話し合い、業務改善に努めています。	
	7	●		毎年評価表のご依頼をお願いし、お声を頂戴しております。また、日頃から保護者様とコミュニケーションを取り、ご希望ご要望を把握できるように心がけています。それを基に次年度の計画を立てています。すぐには改善できないこともあります。皆様のご意見を基により良い事業所になるよう努力しています。	
	8	●		行事・活動・日々の支援法においてディスカッションを月末ミーティングや日々の支援前後にしています。	
	9	●		法人全体では広く実習生やボランティアを受け入れ、終了時には必ず意見を戴き、支援や環境改善に努めています。また、ぶるーむの第三者委員様よりご意見を頂戴しております。本年度は柏市実地指導はありませんでした。	
	10	●		虐待防止・権利擁護研修、児童部門と合同でのスタッフ勉強会や感染症対策研修・BCP研修・救急救命研修会（毎年）なども行ってあります。また各自自己研鑽の研修も参加しています（摂食・聞こえについて・支援計画の5領域について等）	
適切な支援の提	11	●		年間プログラムを作成し公表しています。	
	12	●		保護者様との面談を年2回行っています。面談や日々のやり取りの中で利用者様の状況把握に努め、計画に反映させています。	
	13	●		月末のスタッフミーティングはこどもの支援及び個別支援計画作成の会議と題し、一人一人検討しています。	
	14	●		療育現場にもコピーを置き、朝確認してから療育に携わるようにしています。	
	15	●		標準化されたアセスメントツール（各種発達系検査）は、使用してはおりませんが、お母様が検査した結果があれば、お母様方から伺っております。その結果でどのような対応が望ましいのか、保護者様と共に考えていきます。	
	16	●		ガイドラインの項目に沿って必要な支援項目、支援内容を作成しております。支援内容も個別に合わせて具体的に、スタッフが取り組めるよう留意し作成しています。	
	17	●		年間活動や月間活動をスタッフ内で話し合い、立案し、実行しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	●		季節の行事等多く取り入れ、週替わりで活動がされています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	●		個別活動では体調管理・摂食・身辺自立・身体への取り組みなどが、集団活動では、言語・コミュニケーションなど社会性を育む計画を作成し、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	●		朝礼等はありませんが当日の予定を見ながら確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		●	退勤時間が職員によって違うので、終礼等はありませんが、変更点やトピックス、支援中の出来事に対するアセスメント・改善案等話しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	●		連絡帳や送迎時に口頭でのご家族への申し送りにて、お伝えするとともに、記録を保存して支援の検証ができるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	●		年2回モニタリングを行い、各自の成長に合わせて、児童発達支援計画の見直しを行っています。また、相談支援員との毎月の連絡報告を通じ、利用者様の支援内容の共通認識をはかり、方向性を確認しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	●		事業所を代表し、児童発達支援の管理者及び児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	●		柏市自立支援協議会こども部会で、各親の会様などのご意見をうかがうようにしております。また、地域のおもちゃ図書館（子育て支援団体）様と連携し支援にあたっております	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	●		必要時、情報共有や移行に関する書面での情報提供を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	●		情報提供・個別支援計画の送付、新年度担任の先生とのすり合わせを対面で行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		●	まだ実際に連携を図っているケースはありませんが、ケースによってはスーパーバイズをお願いしたいと思っています。	ケースによってはスーパーバイズをお願いしたいと思っています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	●		令和6年度は2園の保育園様と行き来し、交流保育を行いました。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	●		連絡帳及び送迎時の口頭での申し送りにてお伝えし、相互理解に努めています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	●		ひだまりっこでは本年度2回ペアレントトレーニングを行いました。その他、児童部門として研修会（ペアレントトレーニング）をご案内しています。法人研修会のご案内も行いました。障害種別等により参加しづらい内容もあったかとは思いますが。	法人として、重症心身障がい児者のペアレントトレーニングも開催していただき、ひだまりっこ保護者様も興味を持って参加できるよう、法人内研修企画部門に提案いたします。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	●		契約時や保護者会等に随時、ご説明やご案内に努めています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	●		送迎時や面談時に個別支援計画の立案・変更・確認をしています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	●		初回は丁寧に、次回から継続目標に関しては、変更点を重点的にご説明しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	●		主に送迎時にお話しさせていただき、面談時にじっくりお話しさせていただいています。各関係機関へ繋げる必要があるときも支援しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	●		家族で来れる花火大会を行っています。また、保護者会では「保護者・きょうだい児・本児童」が交流できるように内容や対象を毎年考えて開催しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	●		LINEを利用し、保護者様が相談しやすい環境や関係づくりに努めています。また、送迎時もお話しさせていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	●		毎月の活動内容を通信として配布しています。活動内容等を写真や文章で利用者様全員に配布しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	●		関係機関の情報共有、写真掲載等に関する同意書を交わり、必要以外の情報共有等がないように注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	●		保護者様とは連絡帳やLINEや電話、送迎時のコミュニケーションを大事にしています。お子様とは、お子様の個々の特徴を理解し発揮できる場所で選択・決定を行ってもらっております。またお子様との信頼関係構築のために、一つ一つ事前に説明することを行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	●		事業所内で毎年恒例の「笑福祭」を実施し、利用者様や地域住民の方々を招き、事業運営を開示しています。また、「ぶるーむカフェ」を地域の憩いの場として多くの方々がご利用になっています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	●		緊急時対応・災害時・感染症対策マニュアルについては、ご契約時にご説明と資料の配布をしております。aに特化した災害時（緊急時）マニュアルを作成し、aの入り口に貼付展示し、いつでも見ることができるようになっています。マニュアルに沿って訓練を施行しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	●		法人として年に一回防災訓練をしています（消防署来所していただき）。また、ひだまりっこ・ひだまりっこaは、隔月での避難訓練をしています。なるべくみんな参加できるように1週間毎日行っています。避難用具の選定や再考も行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	●		契約時に聞き取りやコピーをいただいております。変更時はその都度ご家族から申し出ていただいております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	●		医師の医療的ケア実施依頼書にアレルギー欄を作り支持をいただいております。また、調理療育時には念のため保護者様に確認をとっております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	●		本年度児童部門では合同研修会を2回開催し、救急救命法・窒息時の対応、嘔吐時の対応（処理も含む）など行いました。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	●		ホームページ内のブログなどに掲載したりしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	●		改善内容、経過報告を含むヒヤリハット報告書を作成し、隔月で法人内のリスクマネジメント委員会を実施しています。その内容を月末スタッフミーティングで共有し、意見交換を行い、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	●		県や市が行う定期的な研修会に参加したり、毎年一回は社内研修を行い、適切な対応に努めています。3か月毎の虐待アンケートを行い、また、年一回ストレスチェックを法人で行い、リスク管理をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	●		ぶるーむの身体拘束の指針に基づき、安全のため、腰や肩をタオル等で保持する時や、座位保持椅子の胸ベルト、腰ベルトについては、保護者に説明ののち、個別支援計画に明記しています。必要時以外、長時間のバギー等乗車しないよう気を付けています		